

議員定数削減 一歩前進！

皆様に一昨年ご協力いただきました議員定数削減署名の経過報告をさせていただきます。

署名の結果、すぐには議員定数削減はできませんでしたが、結果的に議員報酬削減(議員一人当たり約100万円)、その他の経費削減(議員一人当たり平均約100万円)合計1億2,600万円(議員一人当たり約202万円)が削減されました。

議員定数削減は再度今任期で主要各会派からなる「議会改革協議会」検討されています。1月21日の協議会で常任委員会の人数は「9名以上」という話がされました。(共産党は削減に反対、その他の会派は賛成)常任委員会は6委員会あり、現在1委員会あたり10～11名です。これが仮に9人になれば議員定数は54名となり7名削減されます。9人以上ですので何名削減されるかわかりませんが、削減の方向性について大きく一歩前進しました。

「議会改革協議会」は平成27年3月までには結論を出すことになっています。来年の今頃には結論が出ます。



新 毎日

北九州市議会 議員定数削減を容認

北九州市議会の主要4会派でつくる議会改革協議会(議長＝戸町武弘・自民党幹事長、8人)の第7回会合が21日あった。市議案などを審議する六つの常任委員会の定数について、3会派は各1、2

北九州市議会 議員定数削減を容認

北九州市議会の主要4会派でつくる議会改革協議会(議長＝戸町武弘・自民党幹事長、8人)の第7回会合が21日あった。市議案などを審議する六つの常任委員会の定数について、3会派は各1、2

北九州市議会 議員定数削減を容認

北九州市議会の主要4会派でつくる議会改革協議会(議長＝戸町武弘・自民党幹事長、8人)の第7回会合が21日あった。市議案などを審議する六つの常任委員会の定数について、3会派は各1、2

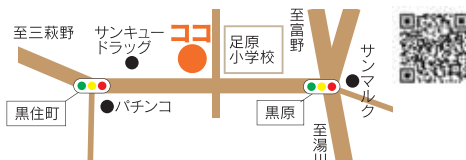
で、6常任委員会は10人以内。会合では自民とハートフル、公明は「定数削減をめぐっては、中村議員市議が2012年9月、約4万8000人分の署名を添えて、定数削減の条例改正を直接請求。市議会は「自主的に決める話」と否決したが、議会改革の主要なテーマになっている。」(矢野)

平成 26 年 1 月 22 日 毎日新聞

中村よしおプロフィール 作業療法士(リハビリの専門職)

- 昭和39年5月12日生まれ(49歳)
- 徳香幼稚園、横代小学校、横代中学校、小倉南高校(テニス部)を経て国立療養所福岡東リハビリテーション学院作業療法学科を卒業(作業療法士免許取得)
- 民間医療機関で作業療法士として7年間勤務
- 1993年 北九州市役所に入職(10年間勤務)
- 2003年4月 小倉リハビリテーション学院作業療法学科教務部長
- 2005年1月 北九州市議会議員選挙に挑戦、初当選
- 2009年2月 北九州市議会議員選挙2期目当選
- 2011年4月 新会派「議員定数削減北九州」結成
- 2012年8月 議員定数削減 54,701名の署名を集め、直接請求を行う
- 2013年1月 北九州市議会議員選挙3期目当選
- 2013年2月 ハートフル北九州入会(役職)
- 北九州市ソフトボールスポーツ少年団顧問/小倉南北少年ソフトボール連盟顧問/小倉南北小学生バレーボール連盟会長/小倉区剣道連盟顧問/北九州市食品衛生協議会顧問/勝山足立ライオンズクラブ会員/小倉北美術連盟顧問/(社)福岡県作業療法協会顧問/小倉北消防団第3分団顧問/足原校区まちづくり協議会副会長/足立町内会長/社会福祉法人理事/NPO法人理事/第64代小倉高校野球部父母会長/元小倉北区中学校PTA連合会長/元露江中学校PTA会長/元足原小学校PTA会長/保護司/日本バーテンダー協会北九州支部顧問

中村よしお事務所 〒802-0043
北九州市小倉北区足原2丁目1-39
TEL (093) 932-8533 FAX (093) 922-8277
E-mail●nakamura-y3226@nifty.com URL●http://www.nakamura-yoshio.jp/



北九州リハビリ報告

vol. 24

北九州市議会議員 中村 よしお

2014. 4. 5

平成26年2月議会が開催されました！

平成26年度予算報告



歳入

- 市税 1,566 億円(対前年比 19 億円増)
 - 個人市民税 461 億円(対前年度5億円増)
 - ・株取引の活性化、税制改正の影響
 - 法人市民税 130 億円(対前年度 11 億円増)
 - ・景気回復による企業収入の改善
 - 固定資産税 801 億円(対前年度2億円増)
 - ・地価下落や設備投資減少はあるが、家屋新増築による
 - 市たばこ税 82 億円(対前年比2億円増)
 - 環境未来税 6 億円(対前年比1億円減)
 - その他

歳出

- 義務的経費 2,573 億円(対前年度 16 億円減)
 - 人件費 665 億円(対前年度7億円減)
 - ・常勤職員数削減
 - 扶助費(福祉関係費) 1,244 億円(対前年度2億円増)
 - ・生活保護費(対前年度 16 億円減)
 - ・障害福祉サービス費(9億円増)
 - ・民間保育運営費(3億円増)など
 - 公債費* 664 億円(対前年度 11 億円減)
 *年金の償還や利息の支払に充てられる経費
- 投資的経費(公共事業費) 616 億円(対前年度 21 億円増)

景気回復により生活保護費の減少を見込んでいます。義務的経費及び投資的経費(公共事業費)は減っていますが、高齢化の進展により国民健康保険特別会計、後期高齢者医療制度、介護保険特別会計への繰出金が増加し、依然高い伸びが続いています。

●財源調整用基金(貯金)残高

前年度より25億円増加し100億円となっていますが、相変わらず不安定です。

破たんの危機！「港湾整備特別会計」

臨海部産業用地・分譲地の状況

港湾整備特別会計は海を埋め立ててその土地を販売する特別会計です。埋め立てにかかった費用を販売価格にしていたのですが、売れないため平成10年に赤字覚悟で時価で販売することになりました。しかし、リーマンショックや東日本大震災の影響(当局の説明)により、販売は大きく低迷し、一般会計の援助がなければ維持できないことがわかりました。

現在の市債残高(借金)は529億円(平成24年度末)ですが、残りの分譲地を全部売れたとしても、130億円+利子が不足します。今後は第三セクター債という借金を一般会計として港湾整備特別会計を整理していくことも含め検討していきます。(言い換えれば皆さんの税金でまかなう一般会計で尻拭いをすることを検討していくということです)



【マリナクロス新門司】
*分譲率:76.8% ■:分譲残地

平成26年度の主な事業

城野ゼロ・カーボン 先進街区形成事業 17億3,800万円

小倉北区城野地区(旧自衛隊跡地)の土地区画整理事業等です。
平成29年度完成予定。



水や環境ビジネス推進

平成22年議会で海外水ビジネスを提案しました。現在はベトナムやカンボジア等、様々なところに広がっています。

東南アジアを中心に本市の技術や行政ノウハウを武器にビジネスチャンスを広げていく事業です。

- ・アジア低炭素化センター関連事業 1億5,600万円
- ・海外水ビジネスの推進 9,600万円
- 「北九州モデル」を活用した都市環境インフラビジネス推進事業



JICA技術協力プロジェクト

小文字歩道橋等の歩道橋の撤去 3,000万円

中村よしおは平成20年議会で且過歩道橋、小文字歩道橋、香春口歩道橋の撤去を提案しました。すでに且過歩道橋は撤去され、便利になっています。



小文字歩道橋

総合療育センター再整備事業 6,400万円

総合療育センター再整備に向けて基本設計等を行います。



新総合療育センター(本体)



西部分所

(仮称)総合療育センター 西部分所整備事業 2,400万円

八幡西区旧障害者福祉会館の新設に向けて実施設計を行います。



ごみ収集車(バックカー)

(仮称)福祉ごみ収集業務 300万円

ゴミステーションに家庭ごみを出すことが困難(要介護度2以上)なひとり暮らしの高齢者や障害者を対象に玄関先での収集を実施します。

戸畑D街区 スポーツ施設整備事業 4億8,200万円

戸畑区のスポーツ施設の集約化に取り組み戸畑D街区について、体育館棟や武道場棟などの建築工事に着手します。



戸畑D街区スポーツ施設イメージ図

北九州マラソン開催事業 7,000万円

今年大成功しました北九州マラソンを平成26年度も開催します。



北九州マラソン2014

八幡病院の移転・建て替えにむけて 測量・調査 2,000万円

平成29年度移転・建て替えにむけて建設予定地(旧尾倉小学校跡地)の測量や地盤調査を行います。



新八幡病院

本会議一般質疑内容

①新スタジアムの芝生養生期間中の活用策

新スタジアムは天然芝のため年間300日の芝生養生期間があります。この期間は芝生部分が使用できません。スタジアムの有効利用のためにも、芝生養生期間の活用方法を考えていくことが大切です。また、年間のランニングコストは1億円の赤字が試算されており、この赤字をできるだけ少なくしていくことが、大きな課題です。そこで、競艇事業の場外舟券売り場の併設を提案しました。現在はメディアドーム内に場外舟券売り場がありますが、場所の借上料(競艇事業からもらえる場所代)は年間1億6,238万円です。新スタジアムに場外舟券売り場を設置することで年間8,000万円～1億円の借り上げ料収入が見込まれ、年間のランニングコストの赤字はほぼ解消されると思います。



②新関門道路(関門海峡道路)建設

関門国道トンネル・関門橋に続く関門第3の道路、「関門海峡道路」建設が議論されています。市長は建設に対して前向きに答弁していますが、必要性和建設費用が不明です。国道関門トンネルは55年、関門橋40年経過していますが、はたして早急に建設が必要なのか?1,100億円～2,700億円ともいわれている建設費の一部を北九州市に負担を求められる可能性があります。現在の本市の財政は大変厳しく、いつごろどの程度の負担を求められるかを考え、慎重に検討する必要があると思います。
*関門海峡道路:小倉北区西港と下関市彦島を結ぶトンネル。(海上部2km+陸上部4km=6km)



- ③海外水ビジネスの展望について
- ④消防署の建て替えについて
- ⑤自治会加入促進について
- ⑥自転車利用の促進及びマナーアップについて